

プレスリリース

国境を越えて広がるハンガリー文化

大阪・関西万博「ハンガリー ナショナル デー」が開催

2025年4月13日の開幕以来、大阪・関西万博の「ハンガリー・パビリオン」には連日多くの来場者が訪れており、これまでに約25万人が来場し、ハンガリーの魅力を体験しています。民族音楽の生演奏による壮大でありながら、没入感あふれる視覚的・音楽的な体験が高く評価されております。そして「Miska Kitchen & Bar」で提供される本格的なハンガリー料理も、多くの方々にご好評をいただいております。

パビリオン内でのイベントに加えて、万博会場内の各ステージでも、民族音楽や舞踊のパフォーマンスが注目を集めており、ハンガリーの文化的な存在感が一層高まっています。

その集大成ともいえるイベントが、5月24日に開催された「ハンガリー ナショナル デー」です。この日を通して、ハンガリーが主役となり、来場者にその多様で豊かな文化遺産、創造力、そして未来志向の姿勢を世界に紹介できる機会となりました。

ハンガリー・パビリオンのテーマは「過去なくして未来なし」。このテーマには、伝統を理解し、尊重することこそが、価値ある持続可能な発展への鍵であるというメッセージが込められています。中でも、ハンガリーの民族音楽は重要な要素であり、パビリオンの展示空間だけでなく、万博会場各地で展開される音楽・舞踊イベントを通じて、世界中の来場者へとその魅力が発信されています。

ナショナル デーは、各国が自国の文化、価値観、そして未来へのビジョンを紹介するための特別な日です。5月24日の午前に行われた公式セレモニーでは、ハンガリー共和国のシュヨク・タマーシュ大統領が登壇し、次のように述べました：



「ハンガリー・パビリオンが好評を博し、多くの方々がハンガリーの国やその文化、創造性に関心を寄せてくださっていることを大変嬉しく思います。ここでの体験が、訪れた皆さまにとって刺激的なものとなり、ビジネスの可能性を見いだす方にも、文化的な感動を求める方にも、あるいはハンガリーという独自性と伝統を大切にする国を知りたいという方にも、何かしらのきっかけとなると確信しております。実際にハンガリーを訪れて、その魅力を肌で感じてみたいと思ったださる方が増えることを願っております。心温かいおもてなしの国として、皆さまのお越しを楽しみにお待ちしております。」

式典後には、パール・イシュトヴァーン・“サロナ”氏の音楽監修のもと、ハンガリー国立民俗舞踊団による民俗舞踊と音楽が披露され、カルパチア盆地の豊かな民俗文化を見事に表現しました。

夜に開催されたガラパフォーマンスでは、ミハーイ・ガーボル氏とカーエル・チャバ氏の監修・監督のもと、舞踊劇『結婚式 (Menyegző)』が初公演となり、トランシルヴァニアの村の伝統的な結婚式の儀式を、現代的舞台演出と融合させて壮大に描き出しました。この公演は多くの観客を魅了し、会場を満席とさせました。

この一日を通じて、ハンガリーは「伝統を尊重しながら、未来へと向かう国」としての姿を強く印象づけました。ハンガリー・パビリオンのユニークな展示と文化的体験を通じて、その多様な価値観を世界に示し、観光や経済面における国際的な存在感を高め、国の知名度をあげることに大きく貢献しています。